



1年学年だより

発行日:令和5年5月31日(水)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

校長:遠藤 広樹 NO.2

横浜大空襲を知っていますか

副校長 山田 文映

今だ5月の下旬ではありますが、今年はずでに夏を思わせるような暑さがみられます。通用門の階段を上ったところに梅の木があるのですが、今年も梅の実が沢山実りました。暑さの中、広大な南高・南高附属中の敷地を毎日手入れしてくださっている技術員さんにはいつも頭が下がります。皆さんも熱中症等には気を付けてお過ごしただけたらと思います。改めまして、私は副校長の山田文映(やまだ ふみえ)と申します。今年度もどうぞよろしくお願い致します。昼休みになると生徒の皆さんはグラウンドに出て、大縄跳びやリレーのバトンパスなど、体育祭に向けて元気に練習を行っています。これまでいろいろな場面で制限をされていた学校生活にコロナ禍以前の日常が戻りつつあり、何よりも皆さんの笑顔が学校に活気をもたらしてくれます。それは本当に嬉しいことであり、かけがえのないことだと思います。

この季節になると横浜大空襲のことが頭をよぎります。今から78年前の1945年5月29日(火)、横浜の地にこれまでにない大きな空襲がありました。本校の学校図書館には横浜大空襲について書かれた本が何冊かありますが、その中に横浜大空襲を体験された方(現在81歳)の証言が載っていました。

とてもよく晴れた風の無い日だったそうです。そのうち南西の方から青い空を覆うような飛行機の大群が、耳をつんざくような轟音とともに近づいてきたそうです。午前9時20分ころ、横浜上空に姿を現した米軍のB29爆撃機編隊517機は約2時間ほどで横浜の中心地の南区・中区・西区の全域、そして磯子区・神奈川区・鶴見区の臨海部を爆撃しました。その方は当時わずか3歳だったそうですが、周りの人が「逃げろ、早くしろ」といっている声を今でも覚えていると書いてありました。防空壕にたどり着き、眼下を見下ろすと、火に包まれた自分の家が見えたそうです。想像しただけでも恐ろしいことだったでしょう。この空襲では31万人以上の方が被害にあい、約7,000人以上の方が亡くなったとも言われています。避難する間に家族や知人、同級生、同僚らと生き別れ、それが永遠の別れとなることも多かったそうです。いろいろな場面で悲しみが繰り返されたのだらうと、胸が張り裂けそうな思いがいたします。

横浜はすっかり生まれ変わり、新しいビルがあちこちに立ち並ぶ大都市となりました。横浜大空襲を体験された方もご高齢になり、直接お話を伺うことはなかなか難しいのですが、日常の生活の中で時々思い出して、平和について考え続けていくことは大切だと思います。また世界ではまだ命を奪われたり、住む場所を追われたり、十分な水や食べ物がなかったり、大切な人と一緒に生活することのできない人々がたくさんいます。どうしたら誰かを守ることができるのか、どうしたら争いを無くすことができるのか、周りのことを自分事として考えられる人が一人でも増えると良いと思います。

6月6日は体育祭です。生徒の皆さんの笑顔あふれる、かけがえのない一日となるよう祈っています。

【本校におけるセクシュアル・ハラスメント相談窓口】

〈生徒指導専任〉青木 裕介 先生

〈養護教諭〉池田紗和子 先生

○教育総合センターの一般教育相談も、セクシュアル・ハラスメント相談窓口として利用できます。

電話番号:045-671-3726 (月～金) 9:00～17:00 ※祝日・振替休日を除く

【本校のスクールカウンセラー】

長田 美香(おさだ みか)先生

生徒の皆さんの健康で充実した学校生活を応援するため、生徒・保護者の相談に応じています。

・相談時間は次のとおりです。(ただし、変更になる場合がありますので、事前に確認してください。)

月曜日(10:00～17:30) 水曜日(12:00～17:30)

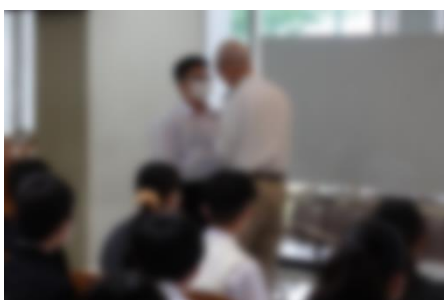
・相談は原則として予約制ですので、相談時間内に直通電話で申し込むか、担任等にご連絡ください。

・相談場所:カウンセラー室(生徒会室となり) ※カウンセラー直通電話 045-822-2877

EGG 体験☆ コミュニケーション研修

5月11日(1・2組)、18日(3・4組)に、EGG体験コミュニケーション研修を実施しました。

株式会社キャッチボールの戸村充男(Mickey)先生をお招きして、コミュニケーションのはじめの一歩である「気持ちのよいあいさつ」と「聴く力」を身につけることを目標に、あいさつやお辞儀の仕方、話の聴き方などを学びました。Mickey先生の軽妙なトーク、となりの人とのロールプレイなど、2時間があっという間に感じられる充実した研修となりました。研修の中で感じたことや思ったことを、ぜひ毎日の生活に活かしていきましょう。12期生の感想の一部を紹介します。



秋に第2回を予定して
います！保護者向けコミュ
ニケーション研修も予定さ
れています。

1組 ■■■■■ パアで、聴き手の態度を変えて会話をした時に、聴き手が話を全く聞いてくれなかった時は言葉につまったのに、よく聴いてくれた時はすぐ言葉が出てきて、聴き手によってこんなにも変わるんだということを実感しました。授業が始まる時、終わる時のあいさつも、もっと大きな声できちんとしたいと思いました。

1組 ■■■■■ 相手の話を「聴く」時には、相手の方を見て、反応しながら、最後まで集中して聴くようにしたいと思います。つまり五感を使って聴くようにしていきたいと思います。またネガティブ思考ではなく、ポジティブ思考で受けとめ、行動していこうと思います。

2組 ■■■■■ 今回の研修の中で、これまで全くやっていなかったことが二つありました。一つは「キーワードをリピートすること」です。少し恥ずかしいのでやったことがありませんでした。しかし実際にやってみると、話し手が「そういうこと！」と私の反応に反応してくれたので嬉しかったです。二つ目は「要約すること」です。話を要約すると、話し手は「ちゃんと聞いてくれているんだな」と理解できて安心することができるんだなと思いました。

2組 ■■■■■ 今までコミュニケーションは話す側の方が大切だと思っていたけれど、聴く側の態度や姿勢の方が大切だということに気がついた。

3組 ■■■■■ 自分は普段、ネガティブなことを多く言っているなと思いました。「自分はできない、無理だ」とすぐ思ってしまうと思います。まずは「ネガティブなことを言わない」ということから始めていきたいです。

3組 ■■■■■ 朝に「イー」や「Mickey」と言うようにして、笑顔で話せるようにしたい。そして、自分の苦手な「最後まで話を聴く」ということは、とても簡単なことだから実行したい。

4組 ■■■■■ おばあちゃんの家に行った時に、話を聞きながらスマホをいじっていたことが多いことに気がついたから、今日から相手の話に集中して聞く。

4組 ■■■■■ 「目線の高さ」を合わせることが大切と聞き、南高祭に来たときに生徒のみなさんが、私の目線に合わせてくれていてとても感じよかったことを思い出した。EGG でやったことだったのかと思った。

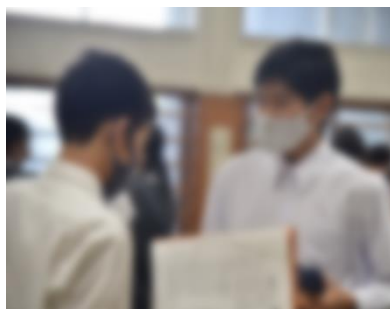
EGG 体験☆構成的グループエンカウンター研修

5月27日(土)に、12期生初めての土曜EGGとして、立正大学の鹿嶋真弓先生をお招きして『構成的グループエンカウンター研修』が行われました。「探偵ゲーム」「アドジャントーク」「SOS～砂漠でサバイバル～」「ひらめき教室」「あなたの印象」など多くの楽しいグループワークを通して、たくさんな人と出会い、新しい自分との出会いがありました。

お互いに「自己開示すること」と「リフレクションすること」を通して、自分も、相手も、この12期生という集団も成長していくと教えていただきました。これからある体育祭や合唱もお互いに知り合っていく機会になりそうです。

このグループエンカウンター研修は2月に2回目が計画されています。「元気な12期生が1年後どのように成長しているか楽しみです」と鹿嶋先生がおっしゃっていました。

	自分が知っている	自分が知らない
他人が知っている		リフレクション
他人が知らない	自己開示	



今月の“よし”ポイント!

先日のコミュニケーション研修前、お昼休みの時間に、「来られる人、手伝って」の声掛けに気持ちよく対応してくれた人がたくさんいて、写真のような素敵な環境が整いました。お願いに気持ちよく応えてくれる人がたくさんいると、みんなにとって良い環境がどんどん整っていきますね。自分たちで自分たちの環境を創る!これから始まる行事にも、前向きに取り組む集団になりましょう!



事務室からのお知らせ

昨年度決算報告と、今年度予算計画をお知らせします。詳しい費目等はホームページでご覧になれます。

令和3年度 予算決算報告書（単位：円）

費目	配当額	決算額	残額	備考（具体例）
学校運営振興費	13,120,900	12,868,656	252,244	備品、消耗品等

※残額は横浜市に戻入されています。

令和4年度 予算執行計画書（単位：円）

費目	配当額	決算額	残額	備考（具体例）
学校運営振興費	13,125,900	13,125,900	0	備品、消耗品等